秘

180L号口生産移行前の最終品質総点検

電技分野深掘り項目（その１）

２５０Lで発生した“アクセルセンサ異常時全車速ACCが勝手に発進”(　１)の再発防止として、１８０Lにおいて

「通信フェールセーフ総点検」を実施。

CAN通信ECUのみ点検を実施。受信側からアクションを取ること。

【Step１】　受信側において、誤動作や誤ダイアグにつながるデータを洗い出す。

【Step２】　抽出したデータについて、データマスターシートを確認

【Step３】　下記観点で不安があるデータについては、送信側に確認する

・ 記載内容が不明確

・ フェールセーフ値の記載がない（異常検出中や仮異常中などの過渡領域も考慮すること）

<image001.gif>　　※１ アクセルセンサ異常時全車速ACCが勝手に発進

エンジンECU（送信側）では、アクセルセンサ異常時にアイドルOFF（アクセルが踏まれていない状態）とする仕様と

なっていたが（㈱）、ACC ECU（受信側）では、アイドルON（アクセルが踏まれていない状態）となる

と誤認識していた（㍿）。

よって、アクセルセンサ異常時にACC ECUはアクセルが踏まれたと誤判定しブレーキを解除し発進。

<image002.gif>

<image003.gif>

＜点検結果＞

受信側で点検シートを作成してください。

１．ECU名　（　　　　　　　　　　　　　　）

<image004.gif>２．Step1　該当する通信データは？　ある　/　ない　点検終了

３．Step2, Step3

No	データ名称	送信ECU